学校番号	３０２２

令和２年度　芸術科　（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学習したことを発展させて、古典や現代の書の作品を通じて、幅広い書表現を体験し、習得しましょう。
・作品制作では習得した技術を生かして、普遍性を大切にしながらも個性を感じられる魅力ある作品を制作できることを目指します。

２　学習の到達目標

・書道Ⅰを基盤に古典や現代の書の学習を通して、書の創造的で個性豊かな表現技術と鑑賞力を習得する。
・書を愛好する心情を育てるとともに、感性をさらに高め、書の伝統と文化についての理解をより確かなものにする。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a．書への関心・意欲・態度	b.書表現の構想と工夫	c．創造的な書表現の技能	d．鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元・題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書 篆刻	五書体（篆刻を含む） 団扇作品制作及び批評会	○ 　 	○ ○	○ ○	○ ○	a.各書体の美や篆刻の表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b.各書体の美や篆刻の表現技法を理解し表現を工夫している c.基本的な表現技法を生かした書・篆刻の表現ができている。 d.作品を書作する達成感とその良さや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
2学期	仮名 漢字かな交じりの書	古筆の臨書 漢字かな交じりの書の学習 ハガキ作品制作及び批評会	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	a.古筆や漢字かな交じりの書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b.用筆法や構成、墨の潤渇について理解し、表現を工夫している。 c.用筆法や構成、墨の潤渇を身につけ表している。 d.小作品の魅力的な作品作りを研究し、その良さや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
3学期	色紙作品制作	色紙作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿 練習 色紙への清書 批評会	○ ○	○	○	 ○	a.文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b.各書体の良さを感じ取り作品の意図を明確にし表現を工夫している。 c.作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d.互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品

※表中の観点について　a.書への関心・意欲・態度　b.書表現の構想と工夫
c.創造的な書表現の技能　d.鑑賞の能力